

snapshot

生活者スナップショット

2023.9.5 Vol.2

猛暑の夏と自然災害への備え

株式会社インテージ
生活者研究センター センター長
田中 宏昌

□ 新型コロナ新規感染者数推移(全国)と第1～8波	3
□ 【長期推移】晴れない不安：感染不安, 行動不安, お金の不安など	4
□ 自然災害やさまざまな脅威に対する不安とその変化	7
□ 防災対策の状況	8
□ 家庭の防災対策：対策している/今後対策したいもの（対策済みTop20）	9
□ 自治体の防災：強化してほしいもの	10

◆ディスクレイマー

本資料は、貴社内での議論・検討を目的に作成されたものであり、弊社がその実現性を保証するものではありません。

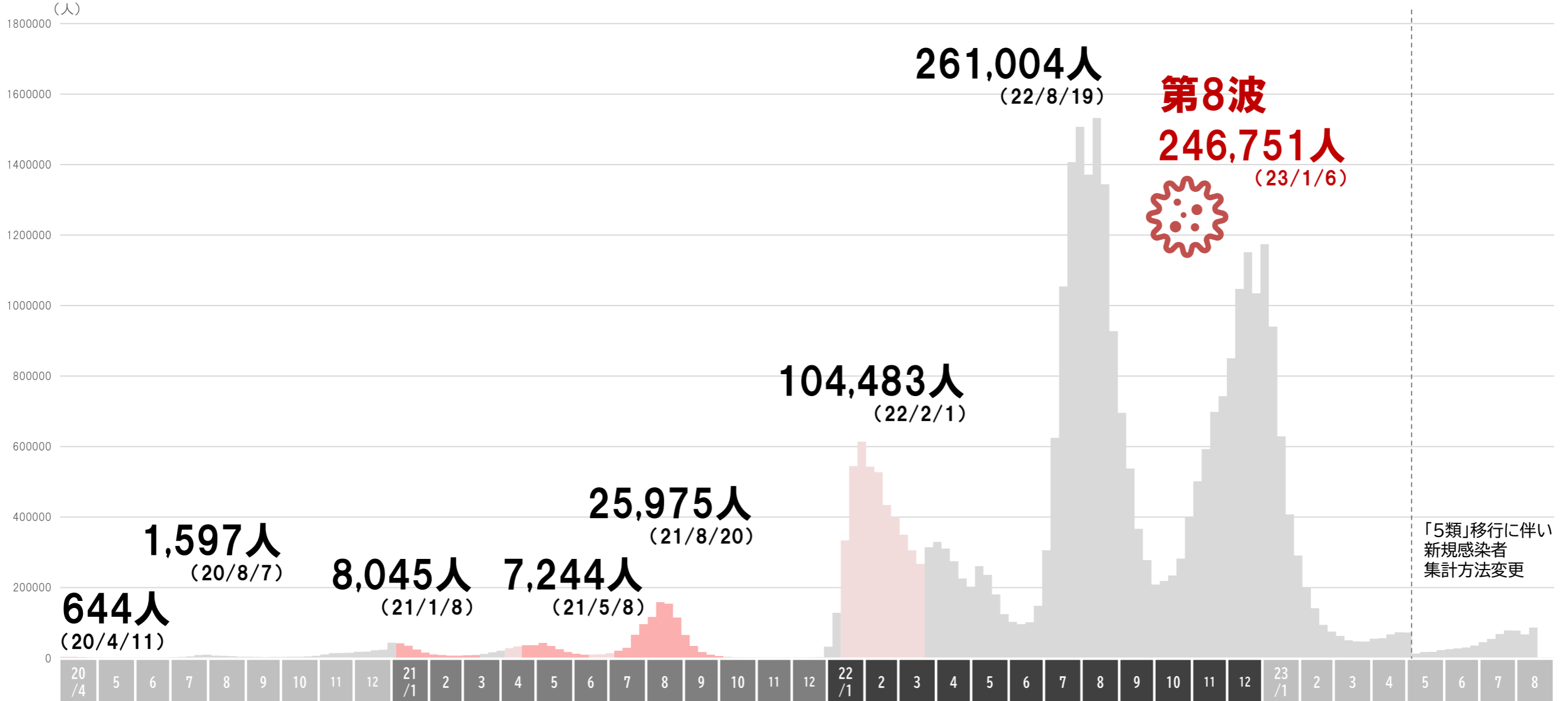
本資料は、貴社提供資料、弊社の内部情報、および、一般情報他、弊社が信頼できると判断した情報をもとに作成されておりますが、弊社はその内容についての真実性・正確性および完全性を保証するものではありません。また、本資料には、弊社の主観的意見が含まれることがあります。

本資料は、貴社内での使用のみに限り作成しておりますので、外部への公表資料として掲載許可を取得していない情報を含みます。

弊社は、その内容の用途について何ら責任を負うものではありません。



新型コロナ新規感染者数推移(全国)と第1～8波



【出典】厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について(週次データにまとめなおし)
感染法分類が「5類」に移行したことにより、2023/5/8 でデータ更新は終了
2023/5/9以降は「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)定点当たり報告数・都道府県別」を参照

《緊急事態宣言(東京)》
・1回目 2020/4/7-5/25
・2回目 2021/1/8-3/21
・3回目 2021/4/25-6/20
・4回目 2021/7/12-9/30

《まん延防止等重点措置(東京)》
・1回目 2021/4/12-4/24
・2回目 2021/6/21-7/11
・3回目 2022/1/21-3/21

【長期推移】晴れない不安：感染拡大，暮らしについて

新型コロナ感染拡大
(不安がある)

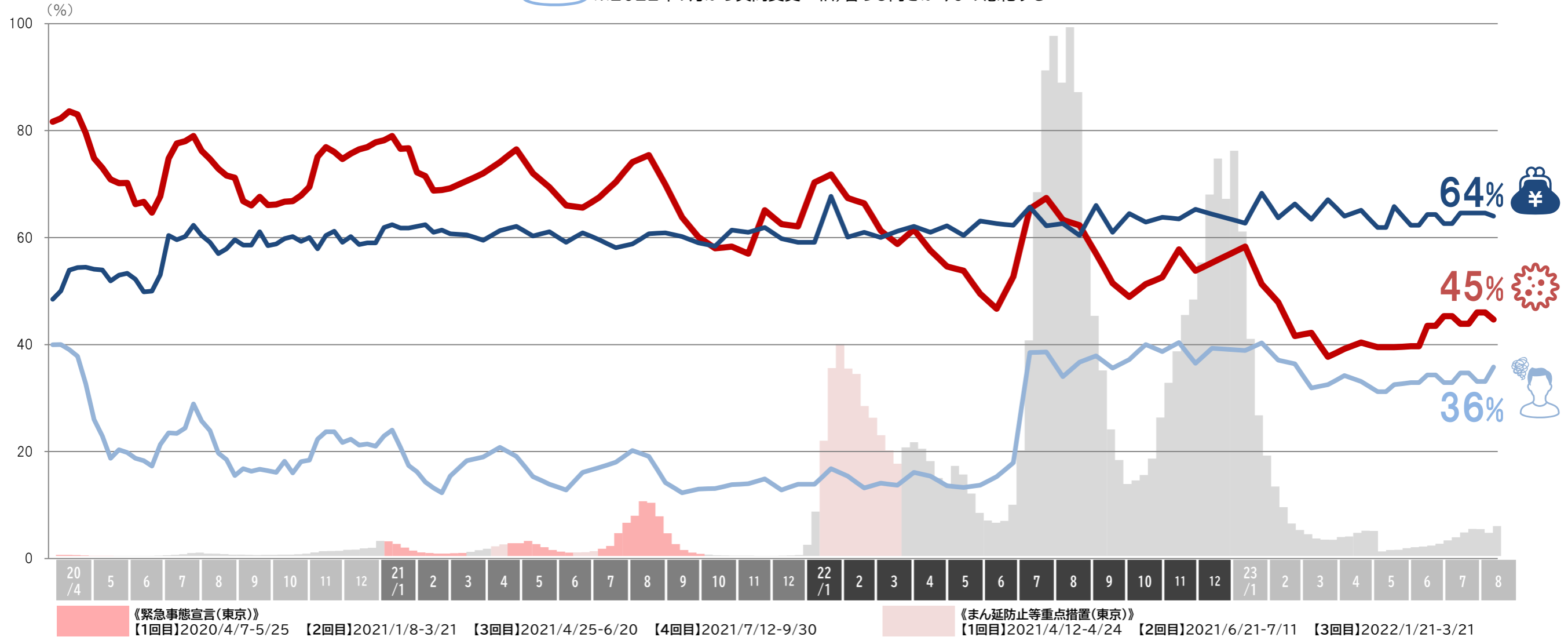


家庭の暮らし向きが回復していく
(そう思わない)

※2022年7月から質問変更：旧)暮らし向きが今より悪化する



節約意識
(家計の節約を心がけている)



【デイリー調査:2020年3月~6月】調査地域:全国
【ウィークリー調査:2020年7月~】調査地域:全国

対象者条件:15-79歳の男女
対象者条件:15-79歳の男女

標本サイズ:n=500s(1日あたり)
標本サイズ:n=3,000s(1回あたり)

調査実施時期:2020年3月25日(水)~2020年6月30日(火)
調査実施時期:2020年7月~現在も継続中

‘第9波’に不安を感じつつ緩む気持ちも見え隠れ。節約意識や回復への期待も不安定。



【長期推移】晴れない不安：感染拡大，外出や行動について



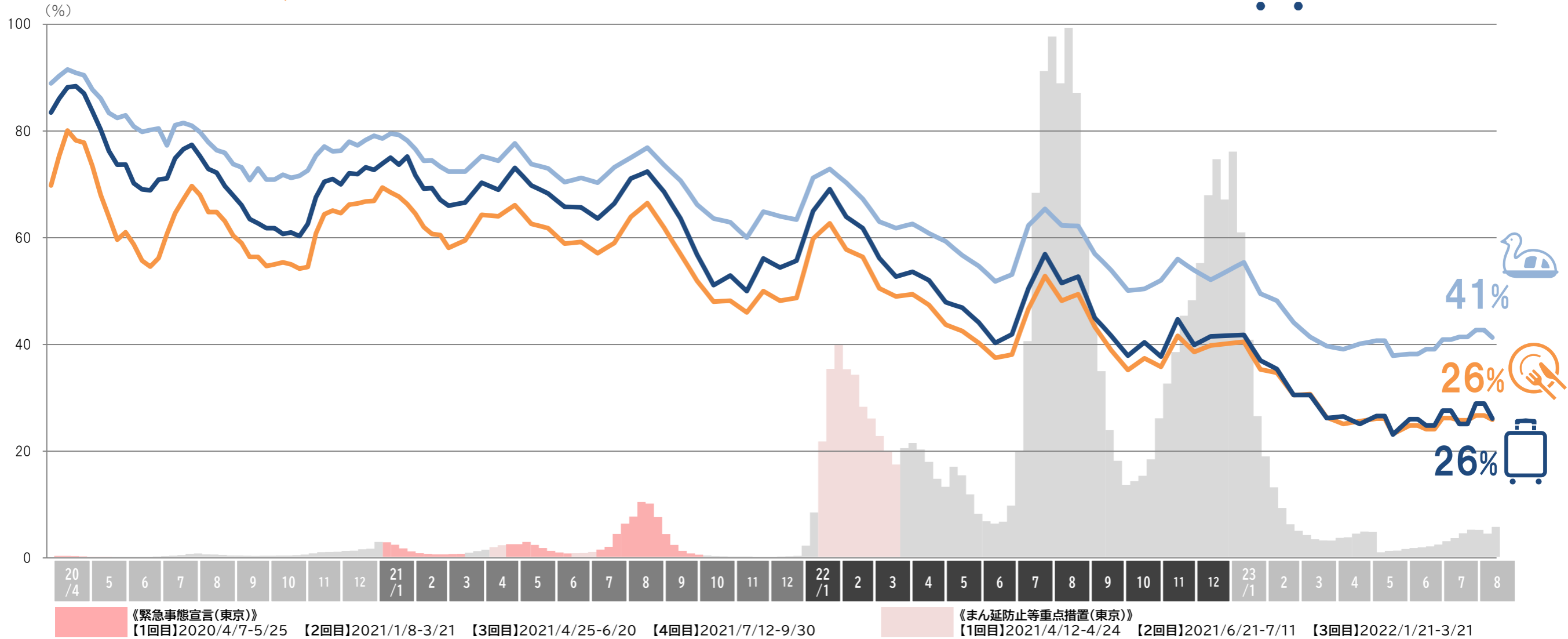
飲食店での食事
(不安がある)



テーマパークや繁華街・人が集まる場所
(不安がある)



国内旅行
(不安がある)



【デイリー調査:2020年3月~6月】 調査地域:全国 対象者条件:15-79歳の男女 標本サイズ:n=500s(1日あたり) 調査実施時期:2020年3月25日(水)~2020年6月30日(火)
 【ウィークリー調査:2020年7月~】 調査地域:全国 対象者条件:15-79歳の男女 標本サイズ:n=3,000s(1回あたり) 調査実施時期:2020年7月~現在も継続中

外食や国内旅行，繁華街などへの外出に対する行動不安も不安定。怖いけど外出したい・・・



晴れない不安：新型コロナ感染拡大・自然災害の不安(エリア別)



新型コロナ 感染拡大不安

	全国	緊急事態宣言 先行7エリア※	先行7エリア 以外
全体	45%	45%	45%
男性	38%	38%	39%
女性	51%	51%	51%



地震・台風などの自然災害の不安

	全国	緊急事態宣言 先行7エリア※	先行7エリア 以外
全体	51%	51%	51%
男性	45%	45%	45%
女性	57%	57%	56%

【データ】 With コロナ マンスリー調査 全国 15~79歳 男女個人/約3,000s

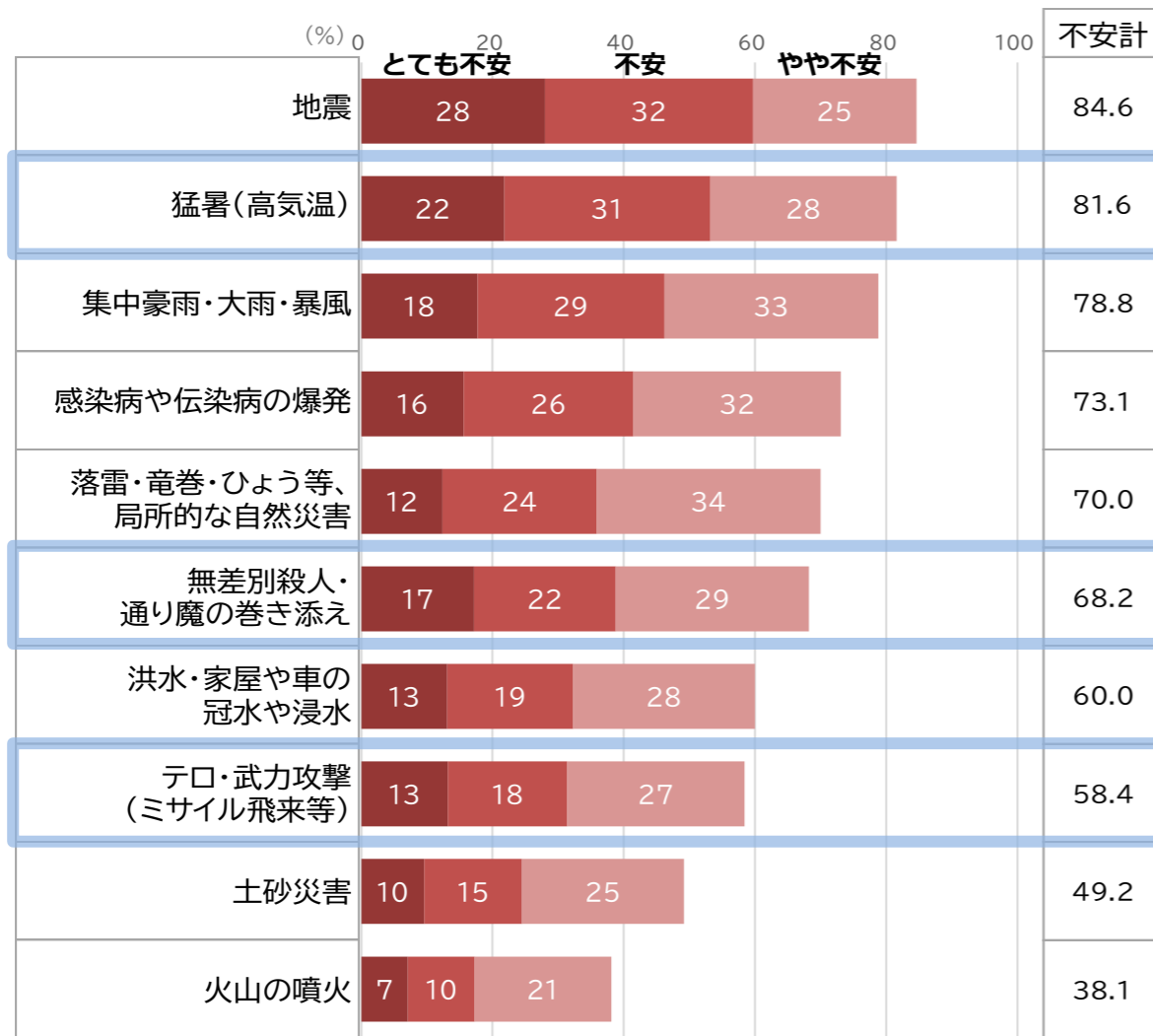
最新：第65回:2023年5調査 / 3,093s回収 / 調査実施時期: 2023/5/5~5/7

新型コロナ感染不安は依然として高い。また、自然災害への不安はそれを上回る。どちらも都市部、地方部といったエリア差は弱い。また、女性の方が不安は大きい。

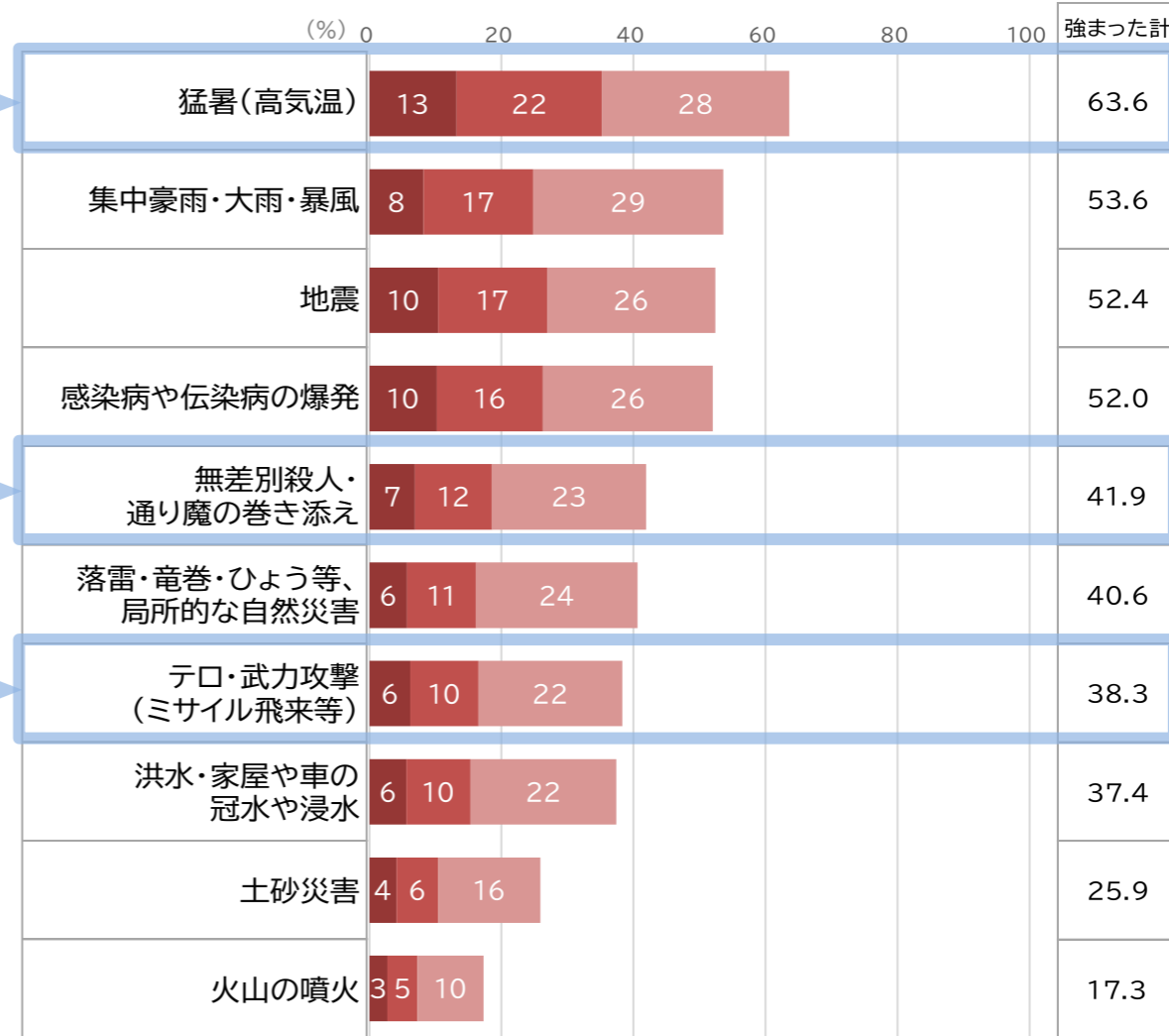


自然災害やさまざまな脅威に対する不安とその変化

自然災害やさまざまな脅威についての不安



自然災害やさまざまな脅威に対する不安の変化(過去3年)



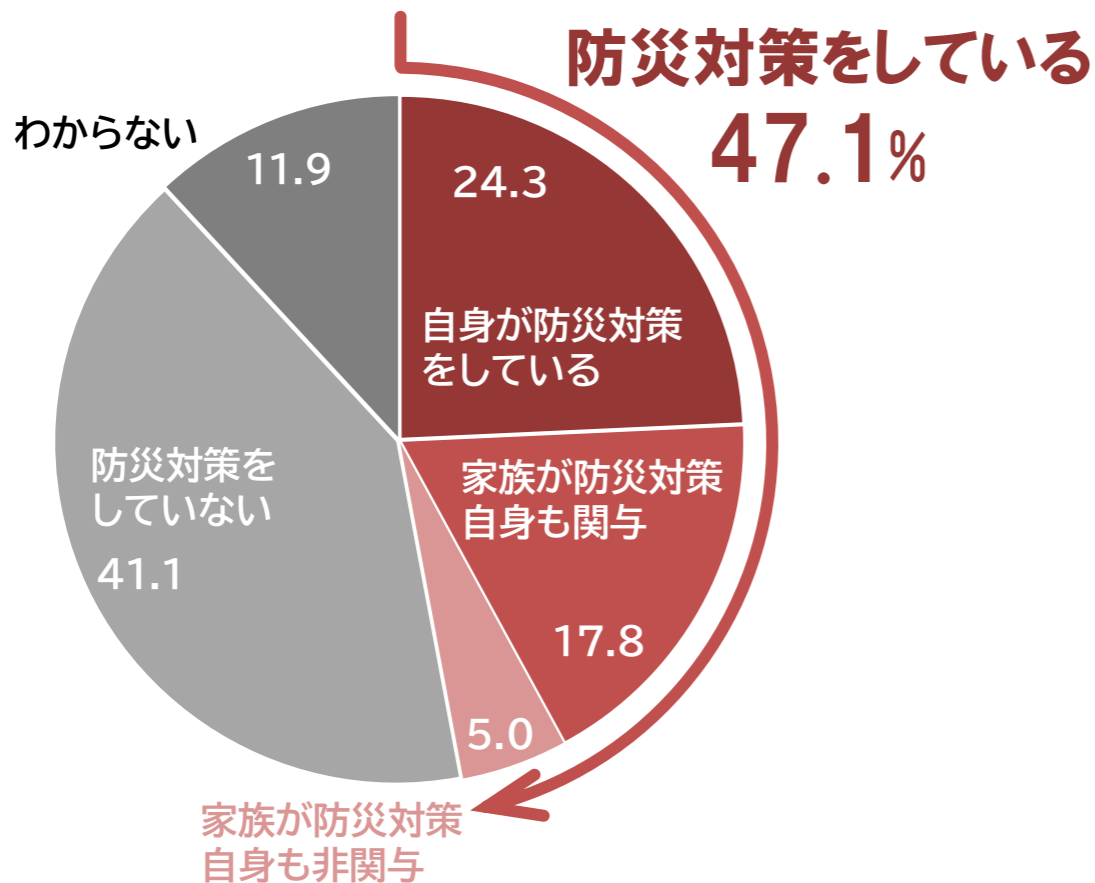
【データ】 調査エリア: 日本全国 対象者条件: 15~79歳の男女 標本サイズ: n=5000 ※ウエイトバック集計あり 調査実施時期: 2023年8月4日(金)~8月9日(水)

地震, 猛暑, 豪雨がTop3. 「パンデミック」の不安も根強い.
猛暑への不安は強まっている. また, 無差別殺人やテロなどの不安も身近なものに.

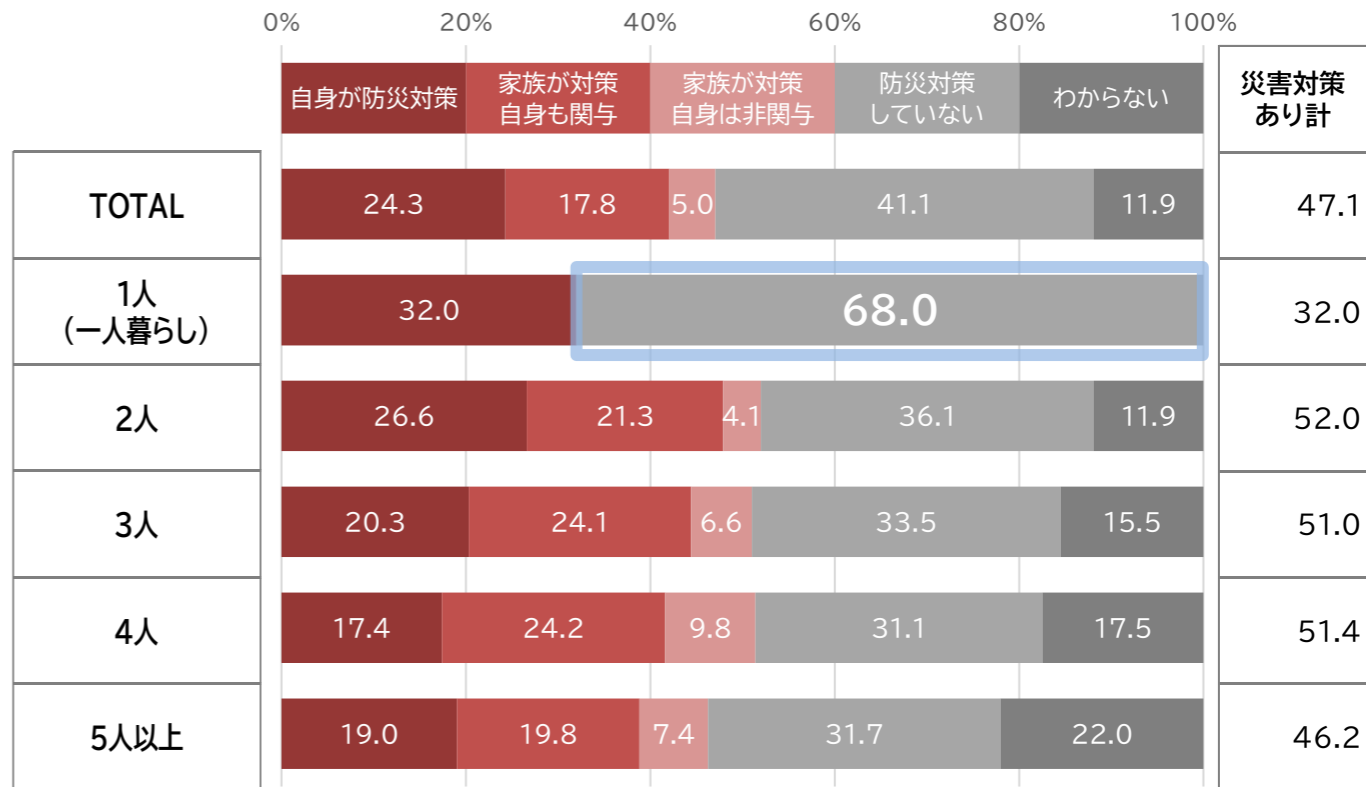


防災対策の状況

防災対策の実施状況(ご自身・ご家庭)



防災対策の実施状況 × 世帯人数別



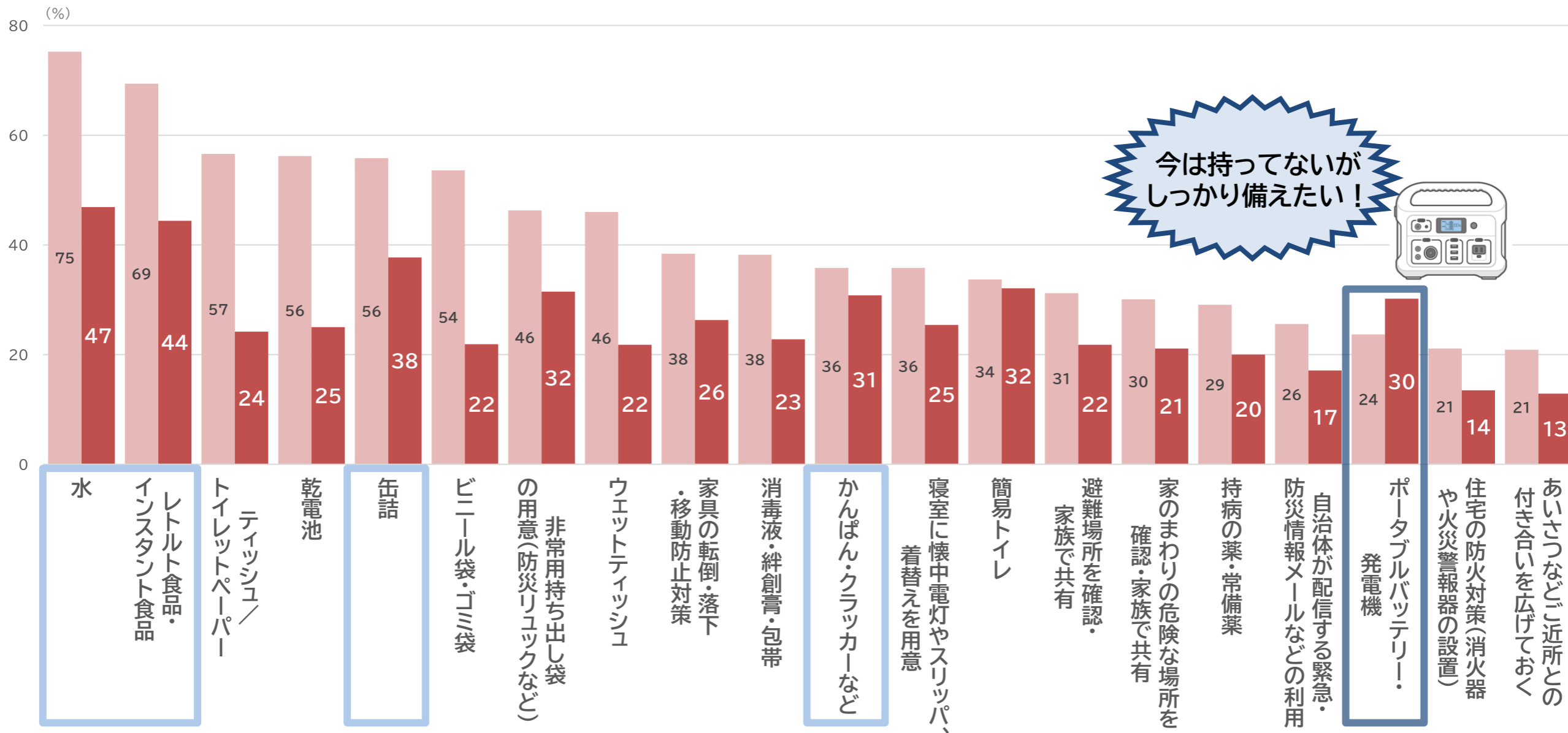
Q あなたご自身またはあなたのご家庭は、何かしらの防災対策をしていますか。
 防災用品など物の備えに限らず、家具の転倒防止対策などの室内の備え、ハザードマップの確認など室外の備え、安否確認などコミュニケーションの備えなども含めてお考えください。

【データ】 調査エリア: 日本全国 対象者条件: 15~79歳の男女 標本サイズ: n=5000 ※ウエイトバック集計あり 調査実施時期: 2023年8月4日(金)~8月9日(水)

**5割弱がなんらかの防災対策を実施. 自身の関与も4人に1人.
 「ひとり暮らし世帯」は7割弱が非対策. 本人のみの関与では難しい側面も.**



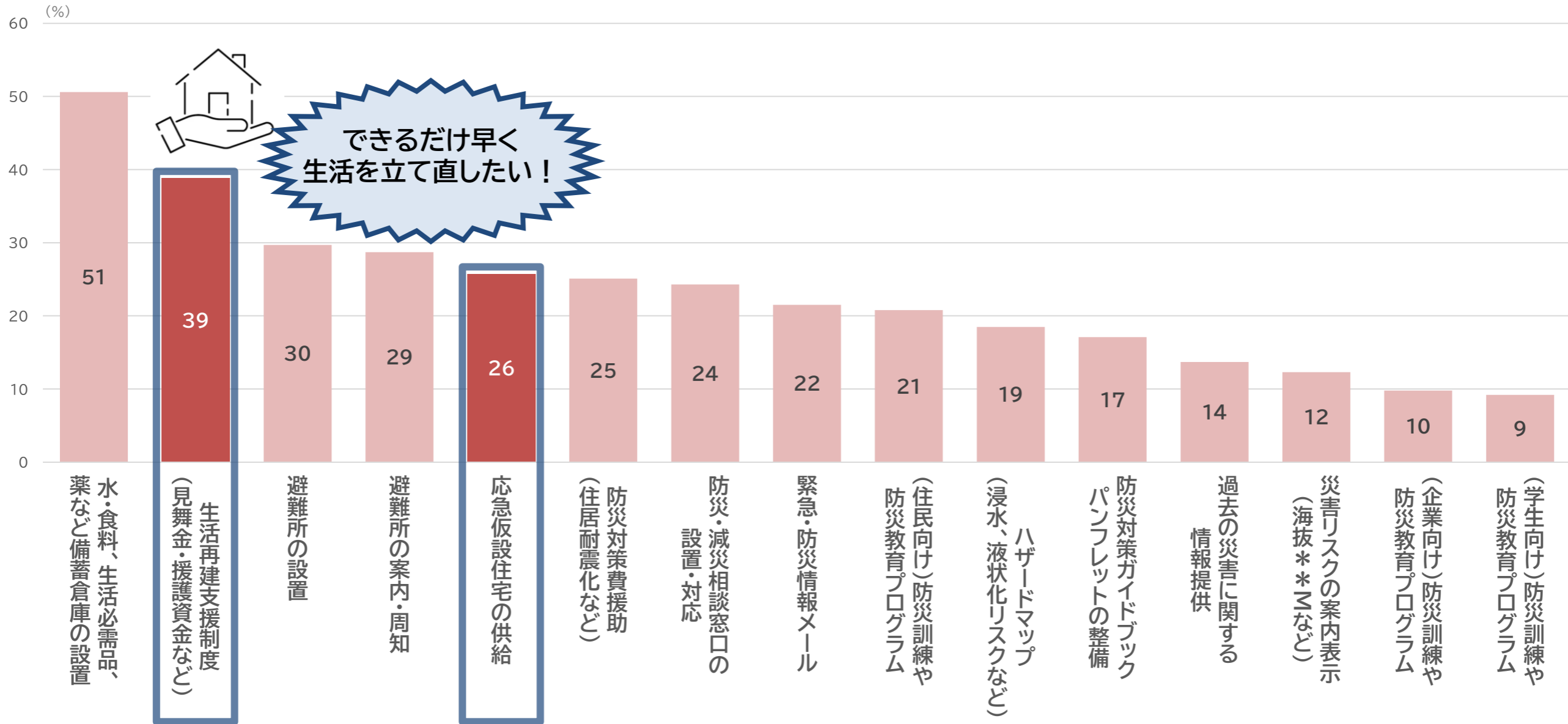
家庭の防災対策：対策している/今後対策したいもの（対策済みTop20）



【データ】調査エリア：日本全国 対象者条件：15～79歳の男女 標本サイズ：n=5000 ※ウエイトバック集計あり 調査実施時期：2023年8月4日(金)～8月9日(水)

防災対策は「食」から。また、ティッシュ類や簡易トイレなど「衛生」関連も関心が高い。また、今後はポータブルバッテリー、発電機といった電気確保も対策としてニーズが高い。

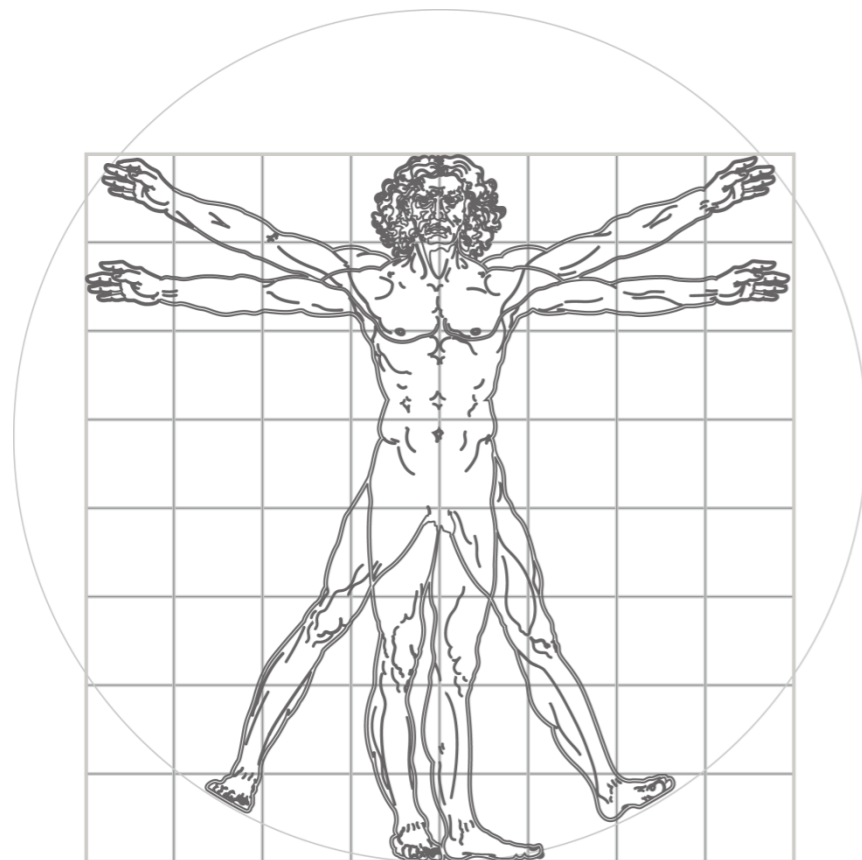
自治体の防災：強化してほしいもの



【データ】 調査エリア：日本全国 対象者条件：15～79歳の男女 標本サイズ：n=5000 ※ウエイトバック集計あり 調査実施時期：2023年8月4日（金）～8月9日（水）

被災後、生活を立て直すために、「生活再建支援制度」や「応急仮設住宅の供給」など、自治体からの直接的な復興支援対策強化を求める声が強い。

Understanding Humanity



Leonardo's Vitruvian Man

生活者研究センター（英語名称 Institute for Human Research）は、インテージの生活者理解の拠点として2020年8月3日に誕生しました。

長きにわたり蓄積している生活者の消費行動やメディアへの接触行動、さらには、生活意識・価値観データなど膨大な情報を連携・横断して用いるとともに、社内の各領域におけるスペシャリストの経験や知見を織り合わせるにより、生活者を深く理解し、生活者を起点とする情報を発信・提供することを目的として設立されました。

また、クライアントへの直接的な貢献を目的として、共同研究や具体的なプロジェクトへの参画などにも積極的に取り組んでいく予定です。